

2023年度

入学試験問題

(40分)

国語

(アカデミーコース)

(国際コース)

学校法人 成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、ていねいな字で書きなさい。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数については句読点、「」なども一字に数えるものとする。)

＊蘊蓄…深い知識
うんちく

(出典 渡部昇一『新・知的生活の方法 ものを考える人 考えない人』)

問1 — 線部㊦㊧のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

問2 空欄「X」、「Y」、「Z」に入る語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア 要素 イ 知識 ウ 存在 エ 享受 オ 認識 カ 選択

問3 空欄(㉑)、(㉒)に入る語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア しかし イ そして ウ つまり エ たとえ オ だから

問4 — 線部①「英知」、②「危惧」の意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
①英知

- ア 際だった発言
 - イ 国際的な視野
 - ウ 表面的な思考
 - エ すぐれた知恵
- ②危惧

- ア 疑って不安になること。
- イ 危険を感じて不安になること。
- ウ 心配で心が落ち着かないこと。
- エ 心配していることが起き、更に悪化することを恐れること。

問5 — 線部③「アイデンティティ」を日本語に言い換えた表現を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自己中心性 イ 自己重要感 ウ 自己同一性 エ 自意識過剰

問6 — 線部④「それ」の指示内容を解答欄の「くこと」につなげるように、二十字程度で抜き出しなさい。

問7 — 線部⑤「よく噛んで消化すべきである」とは、具体的にどうすることか、説明しなさい。

問8 — 線部⑥「そういった古典」とはどのような古典か、十字程度で抜き出しなさい。

問9 本文の内容に即しているものはどれか、正しいものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分にとつての古典とは、気に入つて繰り返し読み続けられる、面白い本である。
イ 自分にとつての古典とは、熱情的な少数の読者をつかんだ本である。
ウ 自分にとつての古典とは、時間と空間の距離が離れており、その時の時代背景が大きく関わってくる本である。
エ 古典の良さは、多様な解釈が可能であり、年月を重ねるにつれて感心を引き起こすところである。
オ 古典の良さは、理解しやすい言葉を多用し、さまざまな人に受け入れてもらえる内容であるということである。
カ 古典の良さは、言葉遣いが統一されており、文体も非常に美しく読みやすいことである。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（字数については句読点、「」なども一字に数えるものとする。）

園の別当入道は、さうなき庖丁者なり。そのべつたうにふだうある人のもとにて、いみじき鯉を出だしたりければ、みな人、別当入道の庖丁を見ればやと思へども、たやすくうち出でんもいかたとためらひけるを、別当入道さる人にて「このほど百日の鯉を、切り侍りを、①けふ欠き侍るべきにあらず。まげて申し請けん」とて切られける、いみじくつきづきしく、興ありて人ども思へりけると、ある人、北山太政入道殿に語り申されたりければ、「かやうのこと、おのれはよにうるさく覚ゆるなり。②『切りぬべき人なくば、たべ。切らん。』と言ひたらんは、なほよかりなん。なでふ、百日の鯉を切らんぞ」とのたまひたりし、をかくく覚えしと人の語り給ひける、いとをかし。

*庖丁者：料理人
はうちやうじや

（出典 『徒然草』）

問1 — 線部①「けふ」、②「給ひ」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問2 — 線部⑦「いみじき」、④「つきづきしく」の本文中における意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ⑦ いみじき (ア) ひどい イ 有名な ウ 無名の エ すばらしい ()
④ つきづきしく (ア) ひどく イ 大きく ウ 似つかわしく エ おもしろく ()

問3 — 線部⑧「別当入道の包丁を見れば」とあるが、別当入道はどのような人物か、本文中より十字以内で抜き出し答えなさい。

問4 ―線部⑥「たやすくうち出でんもいかが」を現代語に訳した場合、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 軽々しく口に出すようなものだろうか。
- イ 簡単に出てきてしまっただけかもしれない。
- ウ 簡単に鯉をさばくのは難しいのではないか。
- エ 軽率に包丁を出してしまっただけは見栄えが悪い。

問5 ―線部㉔「よにうるさくと覚ゆるなり。」は北山太政入道殿の発言である。この時の北山太政入道殿の心情として、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 共感を示している。
- イ 哀感を抱いている。
- ウ 不快感を示している。
- エ 安心感を抱いている。

問6 ―線部㉔「切りぬべき人なくば、たべ。切らん。」を現代語に訳した場合、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 切ることのできる人がいないのならば、ください。切りましょう。
- イ 切ることのできる人がいるのならば、食べましょう。切ってください。
- ウ 切ることのできる人がいないのならば、やめましょう。切らないでください。
- エ 切ることのできる人がいるのならば、食べましょう。ただし、まだ切らないでください。

問7 この作品から学ぶものは何か。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア わざとらしい小細工で人を喜ばせるよりも素直に行為を示すことが良い。
- イ 人の批判をするのであれば自分も相応の技術を持つていなければならない。
- ウ たとえどのような人でも一つは持っている特技があるので認めていくのが良い。
- エ 周りの人をだますような行為はいつか明るみにでてしまうためやるべきではない。

問8 『徒然草』の作者を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鴨長明
- イ 兼好法師
- ウ 清少納言
- エ 紫式部

二〇二三年度入学試験

国語（アカデミーコース）（国際コース）

訂正

【二】

問5 ー線部◎ 「よにうるさくと覚ゆるなり。」 ・ ・ ・ ・ 誤



ー線部◎ 「よにうるさく覚ゆるなり。」 ・ ・ ・ ・ 正